

〈1〉 中国のレアアース産業と輸出規制 — 習近平政権が直面するジレンマ —

日本総合研究所 主席研究員 三浦 有史

はじめに

中国政府は、2026年1月、高市首相の台湾有事をめぐる発言に対する報復として、軍民両用（デュアルユース）規制に基づく日本への輸出規制を強化すると発表した¹。これを受け、日本はもちろん欧米および中国のメディアもこぞって、日本が希土類（レアアース）不足に陥る可能性がある²と指摘した²。

レアアースは、ハイテク産業の「ビタミン」と称され³、電気自動車（EV）を含む自動車、スマートフォン、家電、風力発電から戦闘機、戦艦まで、幅広い分野で使用されている。日本の製造業は、レアアースが調達できなければ、深刻なダメージを受け、その損失は6,600億円におよび、GDPを0.11%押し下げるとされる（木内 [2025]）。

しかし、日本の貿易統計をみると、2026年1～2月の対中レアアース輸入量は予想に反し、前年同期比31.6%増の2,126トンと大幅に増えた⁴。対日レアアース輸出規制はブラフなのか。あるいは、今後本

格化するのか。

本稿は、この問題意識に基づき、まず中国のレアアース支配の実態（1.）とレアアースの分布（2.）について明らかにする。次に、中国政府がどのような輸出規制を打ち出してきたかを振り返ったうえで（3.）、直近の対中レアアース輸入動向を整理する（4.）。そして、中国のレアアース産業が安易にレアアース輸出規制を発動できない環境にあることを指摘し（5.）、対日レアアース輸出の今後を展望する。

1. 中国のレアアース支配

中国は世界のレアアース供給において圧倒的な地位を確立している。生産量、埋蔵量、精製量の順にそのプレゼンスがいかに大きいかを整理しておこう。

米地質研究所 (United States Geological Survey: USGS) によれば、中国のレアアース生産量は2018

¹「商務部公告 2026 年第 1 号 關於加強兩用物項對日本出口管制的公告」2025 年 1 月 6 日商務部。(https://www.mofcom.gov.cn/zwgk/zcfb/art/2026/art_8990fedae8fa462eb02cc9bae5034e91.html)

²「中国、軍民両用物資の対日輸出規制を強化 レアアース含むとの指摘も」2026 年 1 月 6 日 日本経済新聞。(<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOGM067XX0W6A100C2000000/>)、”China’s Threat to Block Rare Earths Has Put Japan on High Alert”, 7 January 2026, The New York Times.(<https://www.nytimes.com/2026/01/07/business/china-japan-rare-earth.html>)、”China considering tightening exports of certain rare earths to Japan”, 6 January 2026, China Daily.(<https://www.chinadaily.com.cn/a/202601/06/WS695cf678a310d6866eb324db.html>)

³『レアアース』はハイテク産業のビタミン」新金属協会 (<https://www.jsnm.or.jp/60th/industry/pdf/01.pdf>)、2025 年 8 月 12 日アクセス

⁴レアアース化合物 (HS2846) とレアアース金属 (HS280530) の合計値。

年から急増し、2024年には27万トンと世界全体の69.2%を占める(図表1)。残りは「その他」が19.3%⁵、マウンテンパス鉱山での採掘を再開した「アメリカ」が11.5%であり、中国が世界のレアアース供給を支配する状況にある。

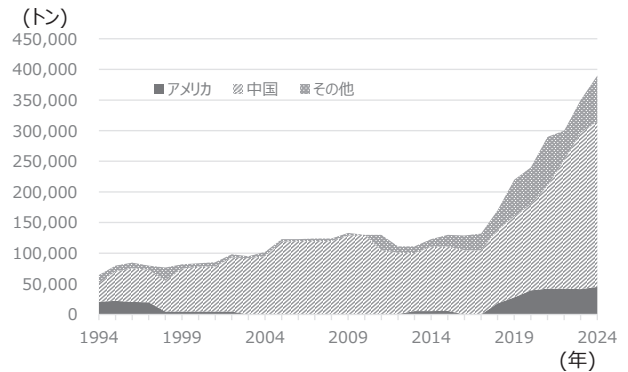
レアアースは、①採掘による鉱石の生産、②抽出・分離・精製(以下、精製とする)による酸化物の製造、③電解・還元によるレアアース金属の製造、④合金化による最終製品の製造という4つの工程を経るが(千葉[2024])、中国は生産よりも精製においてより大きなプレゼンスを有する。世界エネルギー機関(IEA)によれば、中国では2024年に7万3,800トンのレアアースが精製され、世界全体の91.7%を占める(図表2)。これは、中国がアメリカ、オーストラリア、ミャンマーなどからレアアースを輸入し、精製しているためである⁶。

レアアースの生産量を左右する最大の要素となるのは埋蔵量である。USGSは、世界の国別埋蔵量についても毎年発表している。中国の2024年の埋蔵量は4万4,000トンと、世界の48.4%を占める(図表3)。中国に次ぐのはブラジル(2万1,000トン、23.1%)であり、インド(6,900トン、7.5%)、オーストラリア(5,700トン、6.2%)が続く。

世界の埋蔵量は増え、国別の構成比も変わる可能性がある。ミャンマーは、埋蔵量が不明とされているが(USGS[2025a])、2024年の同国の生産量は3万1,000トンと、中国(27万トン)、アメリカ(4万5,000トン)に次ぐ規模に達していることから、その埋蔵量が判明すれば、上位に食い込むことになる。日本は、南鳥島沖の排他的経済水域(exclusive economic zone: EEZ)に世界第3位に相当する約1,600万トンの高濃度レアアース泥があり⁷、2026年2月にはその試掘に成功したものの、USGSは埋蔵量を商業生産が可能なものとして定義しているため(USGS[2022])、図表3には含まれていない。

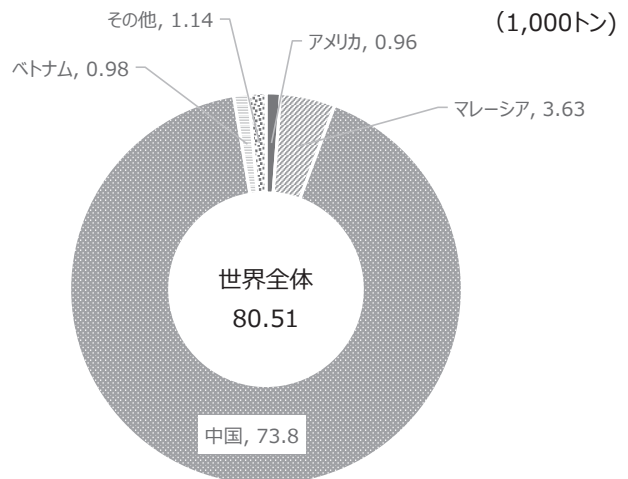
中国のレアアース支配は今後も続くと思われる。世界エネルギー機関(IEA)は、2040年の世界のレ

図表1 米中およびその他のレアアースの生産量



(注) 単位はレアアースの純度を示す酸化物換算量(Rare Earth Oxide: REO)。(資料)USGS資料より日本総合研究所作成

図表2 レアアースの国別精製量(2024年)



(注) 重量は酸化物当量(REO)ではなく、希少元素含有量。(資料)IEA, Critical Minerals Data Explorer, 21 May 2025より日本総合研究所作成

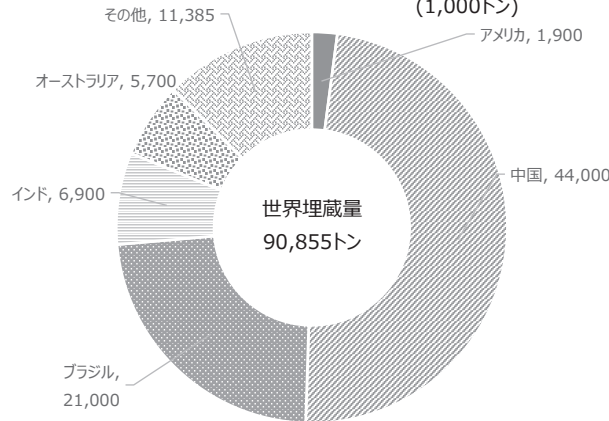
アース生産における中国の割合を52.3%、精製に占める割合を75.7%と予想する(図4)。先進国がこぞってレアアースの「脱中国依存」を進めることから、先行き中国の支配力は弱まるとみられるものの、先進国は中国がレアアースの輸出を制限することで経済活動が停滞する、レアアースの「武器化」に対する不安から全面的に解放されることはないといえそう。

⁵ 2024年の「その他」を構成する主要国は、多い順にミャンマー(3万1,000トン、全体の7.9%)、オーストラリア(1万3,000トン、同3.3%)、ナイジェリア(1万3,000トン、同3.3%)、タイ(1万3,000トン、同3.3%)、インド(2,900トン、同0.7%)、ロシア(2,500トン、同0.6%)。

⁶ 「豪レアアース、『脱中国』遠く」2025年3月10日 日本経済新聞 . (<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCB053NK0V00C25A2000000/>)

⁷ 「南鳥島に眠るレアアース、世界3位の量 中国輸出規制の資源も豊富」2025年6月20日 日本経済新聞 . (<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUB157SC0V10C25A5000000/>)

図表3 世界のレアアースの埋蔵量 (2024年)
(1,000トン)

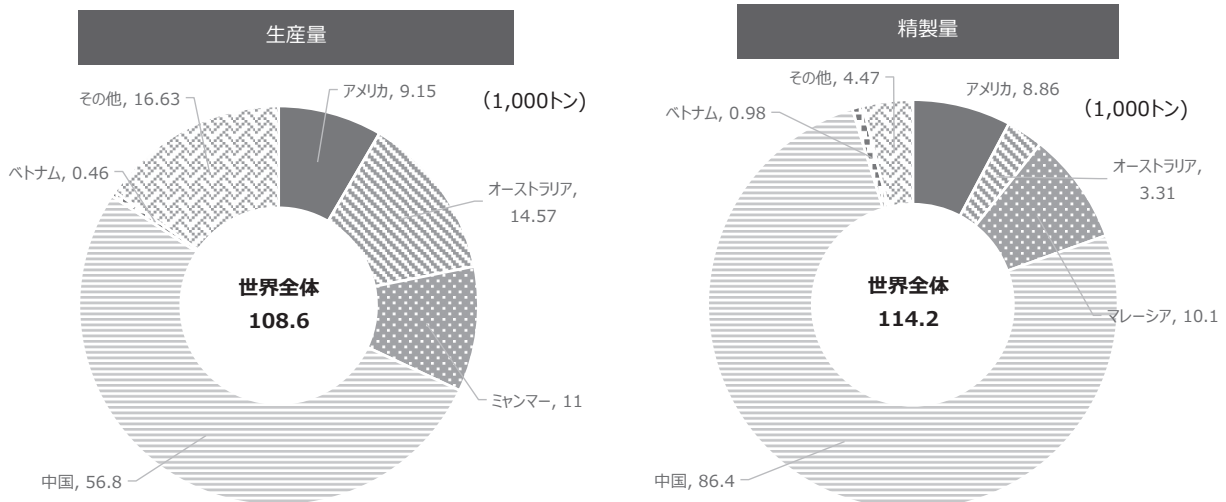


(注1) 図表1に同じ。

(注2) 2024年の世界埋蔵量は各国の埋蔵量の合計値で、USGSの世界埋蔵量より若干多い。

(資料) USGS 資料より日本総合研究所作成

図表4 IEAが予想する2040年のレアアースの生産量と精製量



(注) 生産量の重量は酸化物当量 (REO) で、精製量の重量は希少元素含有量。

(資料) IEA, Critical Minerals Data Explorer, 21 May 2025 より日本総合研究所作成

2. 中国のレアアース分布

中国には、内モンゴル自治区包頭市から北へ120キロのところにあるレアアース鉱山白雲鄂博（バイアンオボ）鉱区という世界最大のレアアース鉱山があり、中国のレアアースの8割超が同鉱区で生産されている。中国には、このほかにも山東省済寧市微山県、四川省涼山イ族自治州がレアアースの生産地として有名である。これらの地域で生産されるのは、

主に原子の質量が小さい軽レアアースである。

他方、江西省、広東省、広西チワン族自治区、湖南省、雲南省、福建省、浙江省の「南方七省」では、主に原子の質量が大きい重レアアースが生産されている⁸。こうしたことから、中国のレアアースの分布は、「北軽南重」（北部に軽レアアース、南部に重レアアース）とされる。

中国のレアアースを軽レアアースと重レアアースに分けると、埋蔵量の87%⁹、生産量の92.9%が軽レ

⁸ 「中国稀土資源状況暨中国稀土集団」2025年7月1日 禾田軽風 . (https://mp.weixin.qq.com/s?src=11×tamp=1756791377&ve r=6211&signature=tXDA6P5UjfinjIE8ka62*MMJ57c2Op4f3B7*F7WfmCoxD6QBCIUB*V9o0sYjHHqcaRuSN2Zl8vSHdjCr2J*jrBVGpZX 8x2AyV-RbWd4vcGkbQAFqyMTM5gGKf50ibkCL&new=1)

⁹ 「稀土産業鏈深度研究：中美欧供給鏈博奕与地緣競争杠杆」2025年5月16日 雪球 . (https://xueqiu.com/4794747175/335369944)